

進捗報告書（資金分配団体）

事業名:	東近江・ポストコロナ対策助成事業
資金分配団体:	公益財団法人東近江三方よし基金
実行団体数:	8団体
実施時期:	2021年3月～2022年3月
事業対象地域:	滋賀県東近江市
事業対象者:	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民（中心市街地の事業者・訪問者、在宅勤務を強いられた労働者、子育て中の親と子、学校に行きづらい子どもたち、買い物難民、限界集落の住民及び関係者、外国国籍の住民、新しい働き方を模索する若者など）

Version 1.0

日付：2021年12月08日

I. 事業概要

事業概要
今回の第2弾では、先の助成活動である第1弾で支援が行き届かなかった「地域の雇用を維持・確保するための民間事業支援」を実現する。特に、地域資源を活用して地域課題の解決に取り組む事業者を対象とし、感染症対策も踏まえた事業展開によってこの感染拡大期においても事業継続できる活動を支援する。その際には、ポストコロナを見据えた都市と地方のあり方に貢献するものであることを条件とする。なお、今後の感染拡大の状況により、第1弾で対象とした「生活弱者への支援とその体制強化」についても継続して対象に含むものとする。

II. 進捗報告の概要

総括
様々な手法を用いた交流促進、働き方・学び方改革、生活弱者への支援を行う8つの実行団体の案件を組成し、資金的支援と月1回の実施状況の確認と事業実施に関する助言などの非資金支援を行い、ほぼ計画どおりに進捗できている。2022年2月の事業完了に向けて計画どおりの活動ができるものと思われる。

III. 活動実績

アウトプット (今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
①様々な手法を用いた交流促進のための体制整備 ②働き方・学び方改革を試行する機会の提供 ③生活弱者への支援とその体制強化	① 1)一般社団法人八日市まちづくり公社は八日市駅前に位置するSATSUKI-ROを拠点に、中心市街地を往来するビジネスマンや学生と、地域の事業者との交流促進のための体制整備、2)木地師のふるさと高松会は地域がこれまで守ってきた木地師関連資料を常設展示できる拠点に、住民とエコツーリズム等の訪問者との交流促進のための体制整備、3)特定非営利活動法人まちづくりネット東近江は、日常の暮らしの中で、多文化共生を実現するため、文化の違いや生活習慣の違い等を認め合える関係を構築する第一歩として「多文化共生フェスタ」「サロン」の開催を通して、外国国籍の住民との交流促進のための体制整備、4)愛のまち合同会社は、閉店したスーパーマーケットを整備・再開して、買い物を機会とした地域住民同士の交流促進のための体制整備、5)一般社団法人マミーズは空き家をレンタルフリースペースに整備して、一般社団法人Loopsはアクセスしやすい商業施設に拠点を整備して、母と子の交流促進のための体制整備。 ② 1)一般社団法人八日市まちづくり公社は八日市駅前に位置するSATSUKI-ROでコワーキングスペース、レンタルオフィスを整備して、働き方改革としての在宅ワークの機会提供、2)一般社団法人マミーズは、空き家をレンタルフリースペースに整備して、ママ達の子育てと両立しながら、一人ひとりのスキル、経験、才能、モチベーションを活かし周りに広げ、それをまた享受できる機会を提供、3)かねいビル愛好会は中古アパートのリノベーションを行い、小さな起業機会を生むための「協働」や実証する機会の提供、4)一般社団法人がもう夢工は、ガリ版伝承館に隣接する空家をフリースペースに整備して、学習・自然・芸術体験できる機会を提供。 ③ 1)愛のまち合同会社は、閉店したスーパーマーケットを整備・再開するとともに、宅配や移動販売の機能を追加して、買い物難民への支援、2)一般社団法人Loopsは、アクセスしやすい商業施設に感染対策やICTを整えた拠点整備は終え、スクール事業・サポート事業・つどいの広場事業など多彩な入口を用意して、来所・オンライン・訪問のアウトリーチで子育て中の親と子への支援。

実行団体名	進捗状況	概要
一般社団法人八日市まちづくり公社	計画通り	ポストコロナに向けた中心市街地活性化事業（中心市街地の商業者・訪問者、在宅勤務を強いられた労働者） 八日市駅前に位置するSATSUKI-ROを人々の居場所と交流拠点にしようとコワーキングスペース、レンタルオフィスなどのハード整備は12月に完了予定。また、商業振興のためのソフト事業として、コロナ禍感染拡大の影響で大きなダメージを受けた飲食店の復活のために商店街組合と連携し、中心市街地を対象とした飲食店マップを作成している。滋賀県立大学、びわこ学院大学の地域社会学等の授業において利活用する方向で検討が始まっている。
一般社団法人マミィーズ	計画通り	ママや子どものためのレンタルフリースペース（子育て中の親と子） ママの「子育てとの両立」から一歩進めて「社会で活躍」する足がかりとするため、ママ達の子育てと両立しながら、一人ひとりのスキル、経験、才能、モチベーションを活かし周りに広げ、それをまた享受できるレンタルスペースを5月末には整備を終え、地域雑誌、SNS、チラシなどで広報を行い、11月現在で目標の60%を超える70%の稼働率に達した。
一般社団法人がもう夢工房	ほぼ計画通り	旧岡村邸フリースペース「ガリ版楽校」（学校に行きづらい子どもたち） ガリ版伝承館に隣接する空家を拠点に、学習・自然・芸術体験が提供できるフリースペースとするための施設整備を開始している。また、そのための運営の準備を行っている。
愛のまち合同会社	ほぼ計画通り	店舗再生による持続可能な地域課題の解決（買い物難民） 交通弱者にとって暮らしを支える必需品が身近に入手できた地区唯一のスーパーマーケットの閉店に伴い、これを地区一体となって整備を行い営業を再開し、宅配や移動販売、交流機能も開始している。
一般社団法人Loops	計画通り	ポストコロナの子育て支援（子育て中の親と子） アクセスしやすい商業施設に感染対策やICTを整えた拠点整備は終え、スクール事業・サポート事業・つどいの広場事業など多彩な入口を用意して、来所・オンライン・訪問のアウトリーチで「つながりを切らない」親子の継続的支援を開始している。
木地師のふるさと高松会	計画通り	木地師のふるさと 新型コロナウイルス対策（限界集落の住民及び関係者） 地域がこれまで守ってきた木地師関連資料を「常設展示」でき、地域を未来へ継承するための交流・関係人口を獲得するための拠点は整備でき、交流事業を開始している。
特定非営利活動法人まちづくりネット東近江	ほぼ計画通り	多文化共生のまちづくりに向けての第一歩（外国国籍の住民） 日常の暮らしの中で、多文化共生を実現するため、文化の違いや生活習慣の違い等を認め合える関係を構築する第一歩として「多文化共生フェスタ」「サロン」を非常事態宣言下、オンラインで実施している。今後は推進体制を構築する。
かねいビル愛好会	ほぼ計画通り	複業による経済的自立の促進と地域への貢献（新しい働き方を模索する若者） 一つの収入源に頼らない「兼業」という働き方や、小さな起業機会を生むための「協働」の場所の提供・実証する場として中古アパートのリノベーションは予定どおり進捗している。部屋は11部屋中10部屋利用者が埋まり、各部屋の改装を進めている。フライヤー、共有のInstagramも作り、これからコツコツと発信していく。

非資金的支援（資金分配団体の伴走支援活動）

活動	進捗状況	概要
実行団体の提案サポート	計画通り	公募期間3月8日～4月8日において、8団体の提案サポートを行った。
公募説明会の開催、個別相談会の開催	計画通り	3月11日10:00-11:00、3月12日10:00-11:00、14:0-15:00に公募説明会の開催。また随時申請を希望する実行団体に対して個別相談を行った。
月1回の実施状況の確認と事業実施に関する助言等	ほぼ計画通り	プログラムオフィサー3名が担当を決め、5月より各実行団体と月1回程度のペースで面談を行い実施状況の確認と事業実施に関する助言を行っている。

事業実施状況・取組事例の共有に資する情報公開等	ほぼ計画通り	10月末時点の実行団体の活動の実施状況を、11月に進捗報告書としてとりまとめのサポートを行った。
各取り組みのつながりの見える化と実行団体の連携支援	ほぼ計画通り	適時面談時に、実行団体の活動に連携すればいい団体を紹介している。例えば広報用チラシの配布の協力先の紹介など。 完了報告時に各実行団体の取り組みのつながりの見える化（体制図）を行う。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
新型コロナウイルス感染拡大が継続しても、終息しても、これら8実行団体の拠点や活動により、地方における新しい暮らし方・働き方を目指す人や生きづらさを抱える人への支援が始まり、地域内外との交流も促進されるであろう。生きづらさを抱える様々な人に対して、緩やかな居場所が提供され、生きる意味と役割を見出すことのできる地域が実現し、移住・定住者の増加にも貢献できはじめているだろう。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥0	¥60,000,000	¥60,000,000	¥50,792,000	85%
	管理的経費	¥327,500	¥10,192,500	¥10,520,000	¥1,846,928	18%
プログラム・オフィサー関連経費		¥435,000	¥2,545,000	¥2,980,000	¥0	0%
合計		¥762,500	¥72,737,500	¥73,500,000	¥52,638,928	72%
補足説明		—				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>リスク1：新型コロナウイルス感染の状況 第5波の「緊急事態措置」が9月30日に解除されるまでは、拠点などでの対面活動は感染防止対策を講じていても、市民の自粛から交流が難しい状況であった。緊急事態措置解除後は目標どおりの活動ができています。今後は第6波に備え引き続き、感染防止対策を徹底するとともに、オンラインでの活動も強化していく。</p> <p>リスク2：ウッドショック ウッドショックの影響により、拠点整備に必要な木材の価格高騰、調達の遅れが発生した。このため、実行団体の自己資金の活用や整備計画の見直しで対応していく。</p>

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	

報告書等	無	
------	---	--

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	はい	